

From the  
People of Japan

# 紛争後地域における地雷・不発弾処理訓練センター (CPADD) の能力開発を通じた平和支援プロジェクト

💰 予算: 505,916 米ドル

🕒 実施期間: 2023年3月～2024年3月

## 開発課題

アフリカにおける地雷問題は喫緊の開発問題であり、特に女性や子どもといった社会的弱者に影響を及ぼしている。地雷除去活動を強化する緊急性は、地雷除去活動の強化の緊急性は、民間人、特に無邪気に殺されたり、傷つけられたりした女性や子どもに対する爆発的被害の規模を考えれば、特に正当化される。ランドマイン・モニターの報告書によれば、地雷や爆発性戦争残存物による死傷者は増加の一途をたどっている。さらに、ブルキナファソ、ニジェール、ナイジェリア（ベナンと国境を接する国）などのサブリージョン諸国ではテロが続いており、この地域の治安情勢の全体的な悪化は、ベナンのような国にも深刻な影響を及ぼし始めている。そのため、地雷除去作業員の能力を向上させ、訓練を受け、可能な限りの装備を整え、容易に利用できるようにすることは、この地域の国々に貢献するだけでなく、ベナン自身にも必要なことである。

2001年に設立されたCPADDは、対人地雷の使用、貯蔵、生産、移転の禁止および破壊に関する条約を適用するための地域協力メカニズムである。3000人以上の研修生を養成した。地雷問題に直面するアフリカ諸国は、民間人を保護するためにより多くの能力を必要としている。

## プロジェクトの目的

このプロジェクトの最終目標は、センターの能力を強化することによって、地雷に関連した死亡と障害の数を減らし、地雷の使用を抑制することである。

センターの組織的・  
環境的な能力を向上

センターの物流能力を  
強化するため、車両を購入

MINANTINKPONの爆発物実施分野を  
更新し、新しい国際的要件を  
よりよく考慮することによって、  
指導員の技術的能力を強化

## プロジェクトの成果

CPADDの組織・環境・  
物流能力の強化

- センターの内部の修復
- 爆発物処理 (EOD) 対応  
車両2台の購入

CPADDがその任務を遂行するための技術的・運営的能力を有する

- 新しい国際的要件を考慮したMINANTINKPONの爆発物実施地域を更新
- 衛生基準を改善し、避難用車両と医療機器を購入
- 射撃用シェルターの建設、避難用車両の購入、消火装置の設置、
- 貯蔵倉庫の修復（弾薬の支持、換気、補強など）、敷地へのアクセス道路の修復  
からなる、植物技術基準への敷地の改良

## パートナーシップ

国防省、ECOWAS

## SDGSへの貢献

16 平和と公正を  
すべての人に

